

中山間地域等直接支払制度で 集落活性化

平成22年度から第3期が行われている中山間地域直接支払制度は、農業生産の不利な地域を直接的に支援し、耕作放棄地の発生を防止することにより、水源のかん養や国土の保全等を図ることを目的として事業を展開しています。

通算で14年目を迎えた今年の事業を紹介いたします。

◆平成25年度の交付金の概要

集落名	団地数	交付対象面積 (㎡)	交付金 (円)	備 考
干 蒲	9団地	195,844	1,662,900	通常単価
湯 原	12団地	458,660	3,669,280	通常単価
峠 田	8団地	200,397	2,439,284	通常単価
滑 津	15団地	386,872	3,780,383	通常単価+規模拡大加算
関	13団地	530,804	4,266,553	通常単価+規模拡大加算
横 川	13団地	379,659	4,168,454	通常単価
計	70団地	2,152,236	19,986,854	国1/2、県1/4、町1/4の負担

★交付金の使途

交付金は、各集落の協定に基づき総額の1/2以上〔関地区は10割〕を共同取組活動（水路、農道などの維持管理、農地の多面的機能を増進する活動や、集落の活性化に関する活動）に活用されます。残りの交付金は、農地の耕作者に面積に応じて支払われます。



環境美化活動・あやめの植栽（干蒲集落協定）



用水路管理・関用水路草刈作業（関集落協定）

水守の郷七ヶ宿の旬のおいしさをみんなの食卓へ

朝採りの新鮮野菜をはじめ、果物、米、山菜、きのこなど、町内の産地直売施設には生産者の方々が丹精込めて作った旬のものが、季節毎に販売されております。

町では、農林漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用して新たな販売交流施設をダム公園に建設します。また、農林産物の保管施設『雪室』を旬の市七ヶ宿の隣に建設し、付加価値をつけた商品を各販売所で一年をとおして販売することで、集客を広め農業所得の向上を目指します。

◆町内の主な直売所の販売額（平成24年度）

単位：円

平成24年度	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
米	299,850	334,580	540,280	181,100	1,355,810
野 菜	619,830	2,647,235	1,776,050	229,740	5,272,855
山菜・きのこ類	2,869,990	270,850	1,371,080	107,380	4,619,300
そ の 他	3,185,612	3,117,637	2,699,658	613,631	9,616,538
合 計	6,975,282	6,370,302	6,387,068	1,131,851	20,864,503

～直売所へ行ってみよう～

町内に点在する直売所では、山菜、野菜、果樹、米、花、豆腐、味噌、漬物など、季節ごとに特徴ある品物が揃っています。

店ごとに品物の種類や加工品など、様々な特色がありますので、みなさん気軽に足を運んでお店をのぞいてみてはいかがでしょうか。

お気に入りの品物を見つけたら、ぜひお知り合いの方にも七ヶ宿のいいものを紹介して下さい。



▲新たな販売交流施設イメージ図

雪室とは？

冬の生活には厄介ものとされている雪を、自然リサイクルエネルギーとして最大限活用するものです。ただの冷蔵庫とは違い、高湿度環境を保つ雪室では米や野菜などを寝かせることで、みずみずしさを保つだけでなく、一定の温度でゆっくり熟成させることによりうま味成分が増し、雑味のとれたまろやかな味わいになると言われています。このひときわ美味しくなった米や野菜、果物を雪室シリーズとして付加価値を付けて販売していきます。



▲農林産物保管庫『雪室』イメージ図

また、販売用だけではなく町内のみなさんが自家用とする米や野菜についても、雪室を利用していただくことができます。詳細が決まりましたらまたお知らせしますので、ぜひ施設を活用し味の違いを確かめてみてはいかがでしょうか。

担当：岩間（☎37-2113）